

既存のファイルシステムリソースと同じ LUN を持つファイルシステムリソースを新たに追加する際の制限について

現象：

既存のファイルシステムリソースと同じ LUN を持つファイルシステムリソースを新たに追加する際、リソースの拡張処理をキャンセルしたり拡張処理に失敗したりすると、すでに存在しているファイルシステムリソースやそのリソースと依存関係にある全てのリソースの拡張が解除されてしまいます。

図 1：サンプルファイルシステムリソース

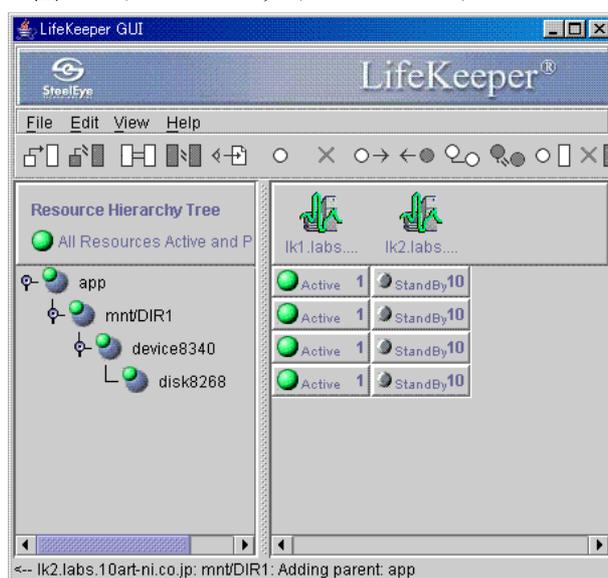
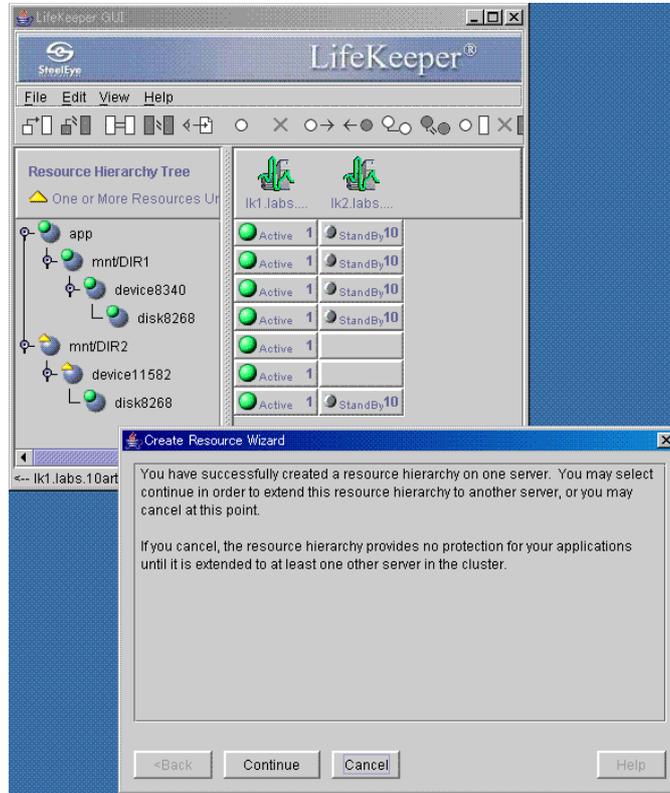




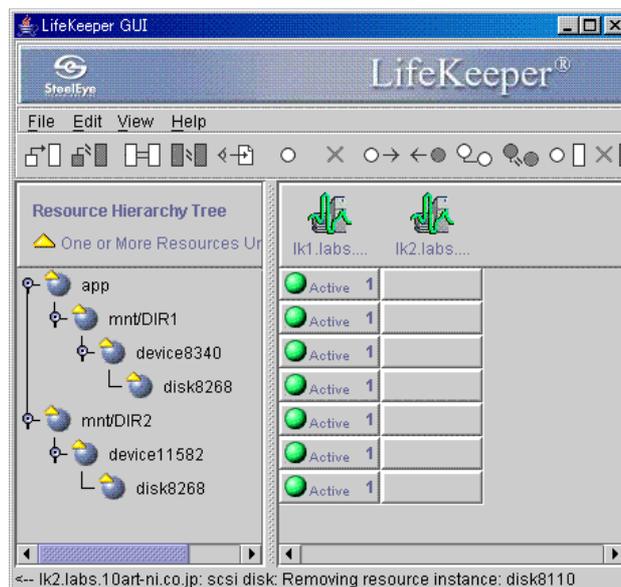
図 2：拡張処理のキャンセル



同じ LUN を持つファイルシステムリソースを新たに追加。その際、拡張処理をキャンセルするか、拡張処理が失敗する。



図 3：拡張処理のキャンセル後



原因：

LifeKeeper では、LUN 単位でディスクの排他制御を行います。そのため、同一 LUN 上の複数パーティションを使用してそれぞれファイルシステムリソースを作成した場合、各ファイルシステムリソースの最下段の子リソースである **disk** リソースは同一となります。一方のリソースの拡張が解除されたりすると、影響範囲はその **disk** リソースに依存しているリソース全てに及び、それらのリソース全ての拡張が解除されます。

対象バージョン：

ALL

修正バージョン：

なし

解決方法：

拡張が解除されてしまったリソースに対し、再度拡張処理を行ってください。

この制限は LifeKeeper の仕様となります。そのため、抜本的な解決方法はありません。LifeKeeper では 1LUN に対し 1 パーティションを推奨しています。そのような構成でファイルシステムリソースを作成すればこの制限を受けることはありません。